

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年4月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年4月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「緊迫ミャンマー 市民たちのデジタル・レジスタンス」

4月4日放送 21:00~21:59 日本放送協会

2月1日の軍のクーデターから2カ月間のミャンマーの人々の抵抗の記録。人々が現場から発信する大量の映像・写真は軍と警察、市民のリアルを世界に伝え、国外のミャンマー人はそれを用いて軍の偽情報の証を示そうと奮闘する。デジタル技術は市民が強大な軍と闘う武器であり、真相に基づく歴史を作ろうとする手段でもあることを示した。

特集ドラマ「流行感冒」

4月10日放送 21:00~22:14 日本放送協会

百年前の流行感冒騒ぎが現代のコロナ禍と重なって、未知の脅威に対する人間の心の弱さ、滑稽さにシンパシーを感じると同時に、人間同士の絆の強さがうらやましく感じられた。大正時代の風俗や家の制度、それぞれの立場に応じた価値観、知識人の葛藤などが丹念に描かれ、演者の自然な演技とも相俟って、説得力を持って伝わってきた。

NHKスペシャル「看護師たちの限界線～密着 新型コロナ集中治療室～」

4月17日放送 21:00~21:50 日本放送協会

コロナ病棟で働く看護師たちに半年間密着。日々のニュースではわからない過酷な業務内容が可視化され、携わる人たちの限界線と、個々の「使命感」に頼る医療行政の限界線が浮かび上がる。日に日に悪くなる患者の姿を見る無力感、理想の看護を打ち碎かれる無力感、ボーナス半減の無力感。現場の疲弊を丁寧に追った。

ザ・ノンフィクション 放送1000回スペシャル

4月11日、18日放送 14:00~14:54 フジテレビジョン

番組開始からの26年間を、放送1000回分の豊富な映像と宮崎あおいのナレーションで振り返り見応えがあった。「ザ・ノンフィクション」が取り上げてきた対象は実に幅広いが、ひとたびカメラを向ければピンポイントで深く入り込み人間を見つめてきたことがよくわかる。民放のドキュメンタリー番組として、これからも頑張ってもらいたい。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年7月号に掲載します